

7月 モニターレポート		担当出張所	木津川出張所
担当区間	区間14：木津川中流両岸11.5キロ。		
モニター実施日時	令和2年7月24日（金）		
天 候	曇り		
<p>(見出し)</p> <p>今日は、私の担当区間の南端、泉大橋付近の様子をモニターしました</p>			
<p>(内容) 現場は、大阪湾まで61KMの地点です</p>  <p>木津川の各橋のもとにはこのような大きな看板があり、とてもわかりやすいです  泉大橋から船で下るとすれば、約61キロで大阪湾に辿り着くわけですね  距離感が掴めて、木津川⇒淀川の流れによりいっそう親しみが持てます。</p> <p>これは泉大橋から見た中洲の状況です</p>  <p>梅雨の長雨の影響でしょうか、中洲の一部の木が根っこごとへし折られ、  無残にも倒れているのが見えました。  この場所はしばしば白鷺が飛来し、仲良く戯れる様を目撃できるところであり、  オアシスとなるべき木々なのに少々残念に思いました。</p>			

右岸 25 キロポイントから泉大橋を眺めたところです



ずっと以前に実施された建設省・淀川河川事務所（？）の広報事業において、一般公募による距離標柱が建てられました。  
川を愛する地元住民による書体、そのままの石柱がなんと両岸合わせて160本程度も設置されたと聞いています  
この25.0キロポイントというのは、桂川・宇治川・木津川、三川合流地点からの距離でよかったですでしょうか。  
この取り組みはなかなか良いアイデアで、おもしろい事業だと思いました。  
泉大橋を望むこの堤防ですが、住民の散歩コース・ジョギングコースとなっていて、私も大好きな場所です。

泉大橋の下に下りてみました



橋の真下に波除けブロックのような大きな三角形のコンクリートが置かれていました  
おびただしい数のコンクリート片にビックリしています  
これは何かしらの役割や意味があるものなののでしょうか？



橋脚には特にいたずら書きもなく、比較的綺麗で安心しました。  
木津川事務所の方で定期的にメンテナンスされているのかな、と思いました。



川原へ下りる草むらには空き缶・ペットボトル等のゴミが落ちていました  
お菓子の袋などもけっこう散乱していたので、  
水辺が恋しいこの時期、川遊びを楽しむ人がいるのでは、と思います。  
確かこのあたりの木津川は遊泳禁止のはずですよね、  
数年前の7月にも女の子が溺れるという悲しい事故があったばかり。  
今年もあちこちの河川で水難事故が報告されているので、  
危険な行動は止めてほしいと願わずにはられません。

今月のレポートは以上です  
何分にも初めての報告ですので、何かしら不手際等ありましたらご連絡ください。  
これからもどうぞよろしく願いいたします。

(意見・感想・処置等)

木津川の距離標は三川合流地点の中でも、木津川と宇治川の合流する背割堤の突端を「0」として測って設置してあります。  
泉大橋真下のブロックは、橋台・橋脚の基礎部分を川の流れから守るために置いてあります。  
橋のメンテナンスは、上部・下部ともに道路管理者が行いますので、泉大橋は国道24号として京都国道事務所が管理しています。  
お暑い中、初めてのレポートをありがとうございました。  
アングルを考えて写真を撮っていただいて、本当に分かりやすかったです。  
次回も宜しく願いします。